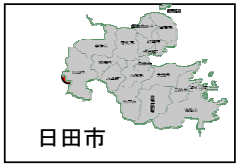
日田市地域公共交通総合連携協議会

平成20年3月19日設置
平成21年4月1日連携計画策定



概　要

【デマンドバスの実証運行、コミュニティバス再編】
　市町村合併により広大な行政面積を有することとなり、地域ごとに異なる交通施策に対する住民の不満や不安の解消を図り、自ら交通手段を持たない住民の生活の確保を目指し、交通空白地域の無い、持続可能な公共交通体系を構築するため、デマンドバスの実証運行、コミュニティバス再編を行う。

○中津江地区デマンドバス導入

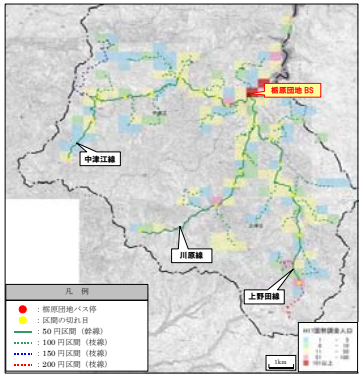
・ワゴンタイプの車両2台を使用して、各集落に至る枝道まで運行
・朝の第1便は定時運行、以後は予約によるデマンド運行を行なう
・最終は民間バスの最終便に合わせ19：00まで運行予定
・料金は現在の定期運行を行なっている本道については1区間50円
　枝道は集落までの距離により100円と200円に分ける
・運行はタクシー業者に委託する

○コミュニティバスの再編（市内循環バスの導入）

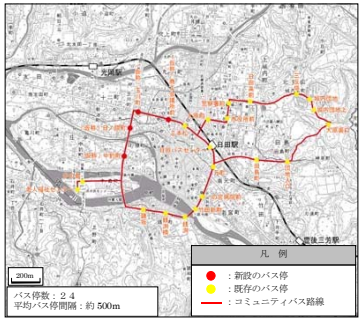
・鉄道や路線バスを利用して日田駅、日田バスセンターに集約
・日田バスセンターから8の字に市内を循環し、買い物や通院に対応
・バスは小型の低床バスを2台導入
・料金は200円均一
・1台につき1時間おきの運行で30分に1回の運行を計画

○大鶴・夜明地区デマンドバスの導入

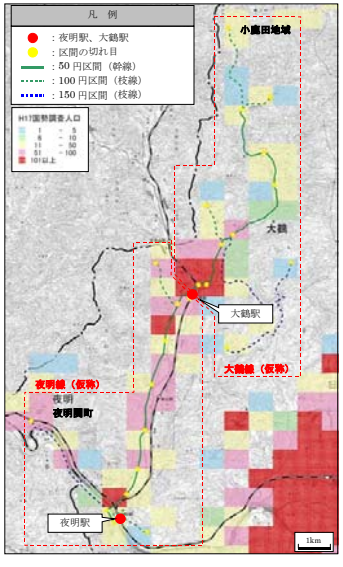
・大鶴地区、夜明地区の各集落の住民で日田市中心部に出かける人をデマンドバスで大鶴駅、夜明駅に集約
・各駅からJRで日田駅に向かい、日田駅からは循環バスで目的地へ
・予約によりJRの時刻にあわせ運行
・料金は幹線は1区間50円、枝道は100円から200円
・ワゴンタイプの車両2台を導入予定



中津江地区デマンドバス



市内循環バス



大鶴・夜明地区デマンドバス